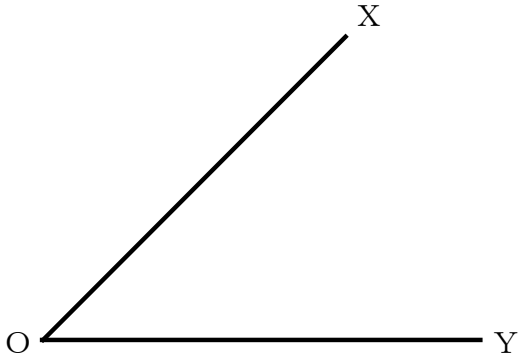


学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 次の手順にそって、 $\angle XOY$ の二等分線を作図しなさい。(p. 107)

- 1 頂点Oを中心とする円をかき、辺OX, OYとの交点をA, Bとする。
- 2 A, Bを中心として等しい半径の円をかき、その交点をCとする。
- 3 半直線OCをひく。



2 上の図で、半直線OCが $\angle XOY$ の二等分線になっていることを次のように証明した。
1の図のAC, BCを結んで、空らんをうめなさい。(p. 107)

(証明)

$\triangle OAC$ と (1) において

(2) から

$OA =$ (3) ……①

(4) から

$AC =$ (5) ……②

(6) であるから

$OC =$ (7) ……③

①, ②, ③より,

(8) から

$\triangle OAC \equiv$ (9)

合同な三角形の (10) は等しいから

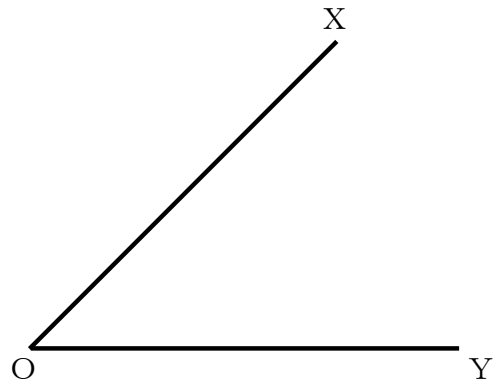
$\angle AOC =$ (11)

したがって、半直線OCは $\angle XOY$ の二等分線である。

3 下は、 $\angle XOY$ と等しい角 $\angle DAB$ の作図の手順を示したものである。(p. 107)

(1) 手順にそって、 $\angle DAB$ を作図しなさい。

- 1 O, Aを中心として等しい半径の円をかき、辺OX, OYとの交点をP, Q, 辺ABとの交点をCとする。
- 2 Cを中心として半径がPQに等しい円をかき、2つの円の交点をDとする。
- 3 半直線ADをひく。



(2) $\angle XOY = \angle DAB$ であることを証明しなさい。

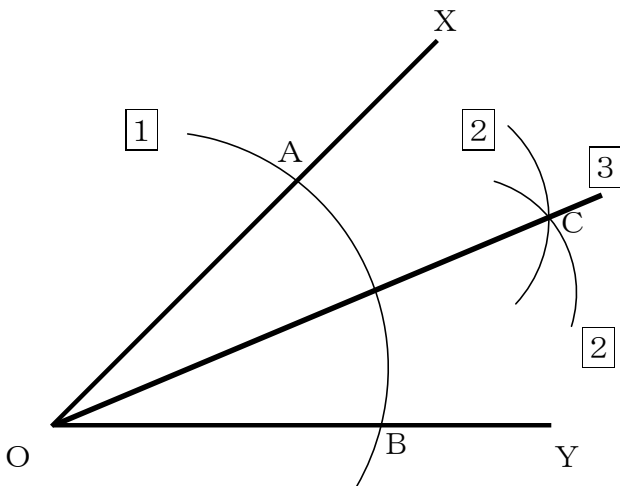
(証明)

1 $\angle XOY$ の二等分線を作図しなさい。

1 頂点Oを中心とする円をかき、辺OX, OYとの交点をA, Bとする。

2 A, Bを中心として等しい半径の円をかき、その交点をCとする。

3 半直線OCをひく。



2 半直線OCが $\angle XOY$ の二等分線

(証明)

$\triangle OAC$ と(1) $\triangle OBC$ において

(2) 仮定 から

$$OA = (3) OB \dots\dots ①$$

(4) 仮定 から

$$AC = (5) BC \dots\dots ②$$

(6) 共通な辺 であるから

$$OC = (7) OC \dots\dots ③$$

①, ②, ③より,

(8) 3組の辺がそれぞれ等しい から

$$\triangle OAC \equiv (9) \triangle OBC$$

合同な三角形の (10) 対応する角

は等しいから

$$\angle AOC = (11) \angle BOC$$

したがって、半直線OCは $\angle XOY$ の二等分線である。

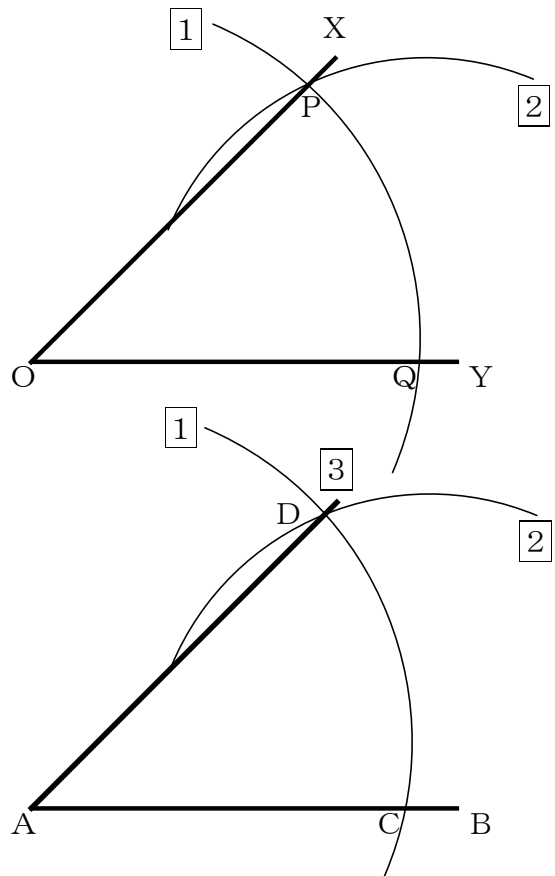
3 下は、 $\angle XOY$ と等しい角 $\angle DAB$ の作図の手順を示したものである。(p. 107)

(1) 手順にそって、 $\angle DAB$ を作図しなさい。

1 O, Aを中心として等しい半径の円をかき、辺OX, OYとの交点をP, Q, 辺ABとの交点をCとする。

2 Cを中心として半径がPQに等しい円をかき、2つの円の交点をDとする。

3 半直線ADをひく。



(2) $\angle XOY = \angle DAB$ であることを証明しなさい。

(証明例)

PとQ, CとDをそれぞれ結ぶ。
 $\triangle OPQ$ と $\triangle ADC$ において
 点O, Aを中心として等しい半径の円をかいたから

$$OP = AD \dots\dots ①$$

$$OQ = AC \dots\dots ②$$

点Cを中心として半径がPQに等しい円をかいたから

$$PQ = DC \dots\dots ③$$

①, ②, ③より, 3組の辺がそれぞれ等しいから

$$\triangle OPQ \equiv \triangle ADC$$

合同な図形の対応する角は等しいから

$$\angle POQ = \angle DAC$$

したがって

$$\angle XOY = \angle DAB$$